

子育て文教委員会 送付30-10

認可外保育施設保育料の助成制度創設を求める陳情

受付年月日 平成30年6月25日

陳 情 者

認可外保育施設保育料の助成制度創設を求める陳情

千代田区議会議長 松本佳子 殿

平成30年 6月 25日

陳情者：

千代田区は「保育園待機児童ゼロ」と発表しています。しかし、それは国基準（区内全ての保育園を希望して入れない児童）の数字です。家庭の事情などで自宅近辺の保育施設を希望し入れない児童は「待機児」とはなりません。千代田区ではそのような「希望する保育園に入れない児童」は270人を超えています。

職場や仕事の都合上でどうしても仕事に復帰しなくてはならなくても、複数の子どもがいる場合や区境近辺に住む世帯にとっては自宅から離れた保育所に通園することは大変です。そうした場合、自宅近辺の認可外保育施設を利用する世帯もありますが認可外保育所の保育料は月8万円～10数万円と高額になります。子どもが複数いる家庭にとっては相当な負担となりますが仕事を辞めるわけにもいかず認可外の保育施設を利用せざるを得ません。

お隣の港区では希望する保育園に入れずに認可外保育所を利用する世帯に対し、認可保育所保育料との差額を補助する制度があります。文京区や新宿区でも認可外保育施設保育料の助成制度があり、千代田区にも助成制度があれば本当に助かります。

今後、千代田区の子どもの数が増えていけば認可外の保育所を利用する世帯も増えていくのではないのでしょうか。ぜひ、子育て世代の願いを聞いてください。安心できる子育てのためにも下記の事を陳情いたします。

認可外保育施設保育料の助成制度を創設して下さい

